

サマーキャンプの思い出

この夏、YMCAキャンプに参加してくれたメンバーの感想と報告をご紹介します。



辻本愛澄さん(6歳・中央)・知優さん

はじめて一泊キャンプ

期間：7月27日(月)～28日(火)
場所：阿蘇YMCA

初めて家族と離れてYMCAのキャンプに行きました。お泊りするのには心配だったけど、リーダーや新体操教室のお友だち、そして妹もいたので、怖いなあという気持ちはなくなっていました。

一番楽しかったことはリーダーと一緒に火をつけたキャンプファイヤーです。火事になるんじゃないかと思ってドキドキしたけど大丈夫でした。初めて見たキャンプファイヤーは大きな花火みたいで良かったです。妹はピザ作りが一番楽しかったそうです。夕食のカレーも、いつもごはんを残すことが多い妹だけ、おかわりをするぐらいおいしかったみたいです。

虫とりしたり、水遊びしたり、布のバッグに絵をかいたりして、新しいお友だちもできました。来年もまたキャンプに行きたいです。

甕島キャンプ

期間：7月27日(月)～8月1日(土)
場所：甕島(鹿児島県薩摩川内市)

甕島キャンプで一番楽しかったことは、きれいな海で泳いだことです。私は2年前にもこの甕島キャンプに行きました。その時も、海がきれいですごく楽しかったので、また参加しました。海では、たくさん泳いで飛び込みもしました。他にはバーベキューをしました。グループごとに作ったデザートもおいしかったです。

カウンスルファイヤー(儀式的な火)では、グループで出し物をしました。私たちのグループでは、クイズをしました。

6年生になってグループのことをまとめるのがたいへんだったけど、すごく楽しいキャンプになってよかったです。来年は中学1年生なので、Jr.リーダーになって甕島キャンプに参加したいです。



北野ひかるさん(12歳・左から3番目)

阿蘇乗馬キャンプ

期間：8月1日(土)～3日(月)
場所：阿蘇YMCA

はじめてYMCAのキャンプに行きました。3日も家を離れるので、少し心配でした。でも説明会でやさしくおもしろいリーダーたちに会って安心できました。キャンプの朝は、にもつは重かったけど、心はわくわくでした。あそびに行つて馬にのったり、えさをあげたりしました。

むずかしいこともあったけど、リーダーたちが親切に教えてくれて楽しくできました。またやさしいリーダーとキャンプに行きたいです。



関 穂乃花さん(8歳)

岸 佳那子さん(8歳)



あそびようばキャンプに行きました。1日目は、馬にのりました。のっている時に草を食べるのでつなをひっぱらなくてはいけなかったから、少しいへんでした。夜は、キャンプファイヤーがありました。少しあつかったです。

2日目は、おべんとうを作つて山のぼりしました。ちようじょうでおべんとうをたべました。たのしかったです。夜は花火を見ました。ハートの形もあつてきれいでした。

第8回コスモスキャンプ

期間：8月8日(土)～8月9日(日)
場所：阿蘇YMCA

アスペルガー症候群・高機能自閉症児などの発達障がいをもつ子どもたちに、野外活動を通して、生きる力をつけてもらうことを願い開催された「阿蘇コスモスキャンプ」。年長児から小学6年生までの子どもたち19名が参加し、1泊2日のキャンプを体験しました。YMCA学院の学生ら22名もボランティアとして参加し、子どもたちとのふれあいを通じて、成長の機会を得ること



第36回ポニーキャンプ

期間：7月29日(水)～7月31日(金)
場所：熊本県立あした青少年の家

熊本県立盲学校の生徒11名と、事前に同校を訪れ、視覚に障がいのある方への支援について学んだボランティアリーダーのYMCA学院生など総勢43名が参加。海のプログラムでは、ジェーンズスイズメンズクラブの塚田俊樹さんらの協力で、ス



キューバダイビングに挑戦しました。藤岡まいさん(小2)は、「最初は怖かったけど、ちゃんと

ができました。

湧水プールでの水遊びやストラックアウト、かき氷・竹のハーマニ力作りなど、様々なプログラムを体験し、参加した子どもたちは、「楽しかったのは、リーダーや友だちと湧水プールで鬼ごっこしたこと。今年が最後のコスモスキャンプ。ちよつとさみしいです(小6)」「プールでやったヨーヨー釣りで、大きなヨーヨーが取れてうれしかった(小5)」「ストラックアウトで、去年より多くパネルを落とせました。来年も記録を更新したいです(小5)」と、自然の中でのびのびとした笑顔で答えてくれました。



「潜ることができました」と笑顔。同じく白石拓実さん(中2)は、「潜つて、そのまま泳ぐこともできて楽しかった」と話してくれました。

ポニーキャンプを支える熊本ワイズメンズクラブの大村豊さんは、「共同生活が子どもたちの成長につながるよい機会になると考えています」。YMCA学院生涯スポーツ科2年の嶋村彩さんは、「障がいを持つ子どもたちとのキャンプは初めて。言葉だけでなく、動作からも介助のタイミングを知ることができるとわかり、勉強になりました」と2泊3日を振り返りました。

手をつないで波打ち際を歩いたり、歓声を上げながら水をかけ合ったり、子どもたちとリーダーは共に自然を楽しみながら、貴重な体験をすることができました。